

— 農の雇用事業による取組事例 —

福島県福島市 有限会社まるせい果樹園

- 地元の商工会の集会に参加させ、地域とつながりを持つ機会を創出。
- 摘み取り体験案内、カフェ、直売所、ライダーズピットなど、観光農業を発展させた交流拠点で幅広く経験。

(有)まるせい果樹園の概要

【設立】平成13年4月

【代表者】佐藤 清一

【売上】6,000万円

【事業内容】果樹の生産、販売

【経営面積】さくらんぼ、もも、なし、りんご、かき、西洋なし、ぶどう（合計4.5ha）

【主要取引先】直売方式

【従業員数】正社員5人

【所在地】福島県福島市飯坂町平野字森27-1

【ホームページ】

<http://www.geocities.jp/fukushimamarusei/>



研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修1年目は、営農部門（さくらんぼ、もも、なし、りんご、かき、西洋なし、ぶどう）を幅広く経験し、栽培技術の基礎を身につけながら適性を判断します。
- ・研修2年目は、研修生の専門性を高めるため、希望の作目で圃場を割り当て、実践力を養成します。また、福島県農業総合センター長期就農研修（於：福島県農業総合センター果樹研究所）を受講します。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・開墾による規模拡大と分散している畑を集約したときに、正社員を雇用し、農の雇用事業を活用してOJT研修を実施。
- ・新規就農者が地域とつながりを持つことが重要との考えから、飯坂町商工会の集会に研修生が参加できるよう交流機会の創出に努めています。
- ・研修期間中から果樹園に併設している「福島県ライダーズピット」（バイクライダーの休憩所）などを担当させることで、お客様や農業者仲間の声に直接接する機会を設けています。
- ・入社3年目には、自社の観光農園分野において摘み取り体験の担当となって一つの経営作目を決め、生産とともにお客様の案内、販売を任せます。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・農の雇用事業でのOJTから7年目を目途に経営作目毎の責任者になることを目指して育成します。また、新品種導入のためマーケティングを学び、商品企画も担当できるよう育成します。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基礎的な栽培管理技術の習得
- ・大型特殊自動車免許取得

部門管理者(3年目～)

- ・担当農場での生産計画の立案・管理
- ・生産資材等の注文・管理

農場責任者(7年目～)

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の確保・育成